

11月11日(月)

彼は偉大な模範

聖書朗読 ヨハネ 13:12~30

あなたがたが召されたのは、実にそのためです。キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、その足跡に従うようにと、あなたがたに模範を残されました。

I ペテロ 2:21

私たちには従うべき模範が必要です。クリスチャンにとって、最も偉大な従うべき模範はイエス様です。ウィリアム・オグデンの古い歌「主が導くところへ私は行く」の中に「主は偉大な模範」「私のためのひな型」という言葉があります。

聖書の中に、歴史上もっとも偉大なお手本の1人を見つけることができます。創造主であり天地を支える御方であるイエス様は、身をかがめ、弟子たちの足をお洗いになりました。その時、弟子たちは御国でのランキングについて(誰が一番偉いのか)議論を交わしていました。そこでイエス様は、お手本として、本当の偉大さとは何なのかを弟子たちにお示しになりました。

ピリピ人への手紙2:8で、パウロは『自分を卑しくし』と言いました。私たちほとんどが抱えている問題は、「自己中心的」になってしまっているとういことです。仕えるより仕えられることに大きな喜びを感じてしまうことです。

イエス様が弟子たち足をお洗いになったとき、弟子たちに『あなたがたに模範を残した』(マタイ 20:25~28)とおっしゃいましたが、弟子たちは、この真の偉大さについてのメッセージを理解していませんでした。イエス様は、そのためにこのお手本を使って説明されたのです。この世の皆が思う偉大さの基準は、イエス様のものとは違います。私たちはそれを理解できないかもしれません。でも、この偉大な模範を見誤る人はいないでしょう。

聖歌 551

祈り 親愛なる主。そんな仕事は私がするようなことではないと思ってしまったとき、どうかイエス様が弟子たちの足を洗った姿を思い出させてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

デール・フォスター

テキサス州 サイプレス

今日の力

2013年11月11日~11月17日

翻訳 阿部やよい

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

11月12日(火)

いつのときも聖人

聖書朗読 使徒 5:1~11

妻も承知のうで、その代金の一部を残しておき、ある部分を持って来て、使徒たちの足もとに置いた。使徒 5:2

私の部屋の壁には七つの醜い顔の形をした石がぶら下がっています。それらは、色欲、暴食、強欲、怠惰、憤怒、嫉妬、傲慢の罪を擬人化したものです。私は毎朝この気色悪い彫刻に迎えられます。私はこの石を見るたびに、この醜い石のようにならないよう、神様がさだめられた目標を目指して一心に走り続けようと心に刻みます。

アナニヤやサツピラのようにならないように、私にはこの石のような物が必要なのです。イエス様を信じた者が持っている物を全て売り、貧しい者に与える(使徒 4:32~37) のを見ていたアナニヤとサツピヤは皆と同じことをしました。と言うより、皆と同じに見えるようにしました。実際は、二人は所有している一部を貧しい者に差出し、残りをポケットにとっておいたのです。彼らは全てを差し出したと言い張りましたが、本当は一部しか出していなかったのです。外見上は信心深い者を装って、内面は強欲さが抜け切れていませんでした。しかし、神様は「カット!」とおっしゃり、二人の霊的な見せかけの芝居の幕を下ろしました。

神様はこの偽善行為を何よりも問題視されました。なぜでしょうか? それは、私たちに對する神様の目標は、私たちが良く見られるようではなく、私たちが良くなることです。神様が私たちに求めておられるのは、聖人のように見える人になることではなく、真の聖人になることです。神様の目標は、外見だけでなく、内面も含めて完全に主と同じかたちの姿に私たちを変えることなのです。

讚美歌 452

祈り 親愛なる主。自分の外見にばかり気にしてしまう自分にうんざりします。あなた様に全身全霊を捧げられますように。心からあなた様を愛することができますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

クリス・アルトロック
テネシー州 メンフィス

11月13日(水)

誠実であれ!

聖書朗読 ローマ 3:18

私たちに降りかかって来たすべての事において、あなたは正しかったのです。あなたは誠実をもって行なわれたのに、私たちは悪を行なったのです。

ネヘミア 9:33

約束を破られたり、誓ったのにそれが守られなかったりされたことはありませんか? 人生はこんなことばかりです。

私たちの世界は、守られない約束、不誠実で満ちています。国は条約を破ります。プロ選手は契約を守りません。政治家は選挙の公約を守りません。「死が二人を分かつまで愛し続ける」と誓った結婚相手はそれを破ります。「不誠実」は人間性を表す言葉としてよく耳にします。でも、神様を表す言葉ではありません!

神様のお言葉に関して言えば、それは「真実」です。神様は約束されたことは必ず守られます。神様が誓いを立てる時は、聖書の上に手を置いたりはしません。『ご自分よりすぐれたものをさして誓うことがありえないため』(ヘブル 6:13)、神様は御手をご自分の上に置かれます。お言葉が真の契約です。

神様のまことに関して言えば、もし人が自らの発言に従って行動しなくても、変わるものなど何もありません。人は絶えず不誠実であり、神様は常に誠実な御方なのです。

たとえどんなに良い一日が送れたとしても、神様と私たちの差は歴然としています。それでも、神様は私たちを選んでくださいました。神様は私たちをお救いになることを望んでおられます。罪深い息子たちのために流された罪なき御子の血で、私たちを洗い清めてくださいます。なぜでしょうか? それはまことです。あなたのもなく、私のでもありません。神様のまことです。

讚美歌 第二編 191

祈り お父様。あなた様のまことが今日の私から誠実を引き出してくださいますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

ベン・メレネス
テキサス州 アマリロ

11月14日(木)

神の苦しみと人間の苦しみ

聖書朗読 I コリント 4:8~13

主、私の救いの神。私は昼は、叫び、夜は、あなたの御前にいます。私の祈りがあなたの御前に届きますように。どうか、あなたの耳を私の叫びに傾けてください。

詩篇 88:1~2

「神様が、全てを愛し、全能なお方ならば、なぜ神様は苦しみをお許しなされたのだらう？」という問いを聞いたことはありませんか？ 愛息の死という不幸に見舞われたある著名な作家は、「神様は全てを愛するが、必ずしも全能ではない」と結論づけました。この作家の痛みを感じる私は、彼のジレンマがわかります。しかし、クリスチャンとして、全てを愛するが、全能ではない神という考えは聖書に書かれている信仰から離れてしまっています。

全能で全てを愛する神様ならば苦しみをなくすことができるはずという皆の思いに対する答えは、神様の肉体化と十字架によって与えられているのではないのでしょうか。神様は私たちのもとにおいでになり、私たちのいたるところで側にいてくださるイエス・キリストをとおして私たちと共に苦しみをお受けになられました。

ある賢い先生が言いました。「もし神様が幸せと喜びに満ちた完璧な世界を想定してこの世をお創りになられたとしたら、私たちは神様が完全に失敗してしまったと思うでしょう。しかし、もしこの世を今のようにお造りになられた目的が、私たちが神様を求め、神様に頼り、神様を信じるためであつたらどうでしょう？ もしそうだとしたら、その目的を果たすため、この世は完璧に作られていると思うでしょう」。

私は苦しみの中で、愛の力を通して働いてくださっている恵み深く、力強い神様を信じます。

讃美歌 524

祈り 主、神、全能の御方、苦しみではなく、信仰を強めてください。あなた様と共に苦しみを経験し、希望を持って約束の主の復活を待つことができるようお助けください。イエス様の御名によってアーメン。

アンディ・ウォール

カリフォルニア州 オークパーク

11月15日(金)

「何か」

聖書朗読 I コリント 13:1~13

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ 3:16

真の愛を心の中に生み出すことは、おきてを守ることもより大変です。友人は「どんなにお祈りをして、どんなによい行いをして、いくらお金を捧げても、神様に『もっと、もっと、もっと、足りません!』といわれているような気がする」と言いました。

コリント人への手紙第一13章で、パウロは私たちに、どんなに強い信仰を持っていても、言葉を発しても、たとえ奇跡を行えたとしても、殉教者として自身を捧げても、十分ではないと言っています。私たちはまだ何か足りないのです。

その何かとは、福音です。神様は私たちのためにひとり子をお与えになるほどこの世を愛されました。福音は私たちへの神様の愛です。福音は私たちが従わなければならない決められた規則ではありません。神様に仕え、従いたいと強く願う気持ちを私の中に生み出させる神の愛なのです。パウロは、福音は救いを得させる神の力であると言っています。

清教徒のジョナサン・エドワードは、彼が福音に再び目覚めたときのことを、頭で蜂蜜が甘いことはわかってはいたけれど、ある時初めて蜂蜜の甘さが口の中ではじけたと例えました。

神様から何かをもらおうとすることと、神様に仕え、より神様を知ることの間には大きな違いがあります。『もしあなたがたがわたしを愛するなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずです。』(ヨハネ 14:15)

聖歌 392

祈り 親愛なるお父様。あなた様の愛のおかげで、私はもっとあなた様を愛し、もっとお仕えしたいと思います。どうか私をお導きください。

イエス様の御名によって私の祈りが届きますように。アーメン。

ウィリアム・E・マクドナ

ミャンマー ヤンゴン

11月16日(土)

預言者でありゾンビであるパウロ

聖書朗読 エペソ 2:1~10

主は私に仰せられた。「人の子よ。これらの骨は生き返ることができようか。」私は答えた。「神、主よ。あなたがご存じです。」 エゼキエル 37:3

私の「生き返り」に対するイメージはハリウッド映画の影響を大きく受けています。もし私がエゼキエルのサンダルだったら、私は「ああ主よ、神よ。やめてください！」って言うでしょう。骸骨で覆われた谷と同じくらい恐ろしい、生き返った死体だらけの中に立っているなんて考えるだけでゾッとします。エゼキエルは私のようにハリウッド的な発想はしなかったようです。パウロもそうだったと思います。

ハリウッドではゾンビを、体の機能は働いているが、理性はなく、原始的本能だけを持っているものとして表現しています。このゾンビのイメージは、パウロが言った生まれ変わる前の私たちの姿と同じです。『私たちもみな、かつては不従順の子らの中であって、自分の肉の欲の中に生き、肉と心の望むままを行ない、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。』(エペソ 2:3)

エゼキエルが見たものとパウロの手紙は、創造主と救い主の両方である神について語っています。ご自身のイメージに私たちをお造りになられた神様は、ただ骨を生き返らせたわけではありません。私たちの神様は、神の人々を生き返らせ、回復させ、新しくする力をお持ちです。『私たちは神の作品であって、良い行ないをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行ないに歩むように、その良い行ないをもあらかじめ備えてくださったのです。』(エペソ 2:10)

讃美歌 79

祈り 創造主である神様。あなた様は私たちをお造りになられたとき、あなた様は「良くできた」と思われました。そのことが信じられない私がいることを告白します。私の中にあなた様のいつくしみを見ることができる目をお与えください。私たちが歩むべき道を歩めるようお助けください。

キリスト、我が創造主、我が救い主、我が主によって。アーメン。

ドリュー・ベイカー

テキサス州 オースティン

11月17日(日)

いつくもの変化

聖書朗読 エペソ 2:19~22

あなたがたは使徒と預言者という土台の上に建てられており、キリスト・イエスご自身がその礎石です。 エペソ 2:20

一つの家、一つの地域に、一生住み続ける家族がいれば、私たちのように、生活スタイルが変わるたびに、住む場所も変える家族もいます。私たちは何度も引っ越しをしました。カリフォルニア、モンタナ、オレゴン、アトランタ、コスタリカ、ホンデュラス、ワシントン、そして今はホンデュラスに戻って暮らしています。引っ越しした先々で、私たちは礼拝を共にする神の人々を探しました。

人生の中で起きる変化に順応することは簡単なことではありません。物理的な移動はただ一つの変化ですみますが、愛する者の死は色々なものを変えてしまいます。子どもたちが成長して、「子どもが巣立った親」になったとき、またそこに違う変化が起きます。使徒パウロは、建物を立てるときの最も大切な礎石のように、イエス様を私たちの生活の中に持つことを今日の聖句を通して教えてくれています。変化の最中でも、イエス様は私たちを支えてくださっています！

今日、私たちは人生のいかなる変化も受け入れようと思うでしょう。「野のユリ」や「空を飛ぶ鳥」以上に神様は私たちを気にかけてくださっていることを主は私たちに約束してくださっています。どこに住もうと、どんな変化が起きようと、イエス・キリストを人生の礎石として心に置いていることを心に誓いながら、一緒に祈りましょう。

讃美歌 332

祈り 親愛なる主。良い時も悪い時も私たちを気にかけてくださると約束してくださり感謝しています。人生の変化を迎えている時にも感謝いたします。あなた様の愛を忘れないよう、どうか私をお導きください。

私たちの尊き救い主の御名によって。アーメン。

マーク&ブレンダ・ヤング

ホンデュラス トルヒージョ コロン